

# かつしか 区議会だより

## 第1回定例会

2月	18日	本会議(議案の付託等) 予算審査特別委員会
	19・23日	常任委員会
	24日	議会運営委員会
	25・26日	本会議(代表質問・一般質問、議案の議決等)
3月	2～8・10日	予算審査特別委員会
	11～16日	常任委員会
	18・23・24日	特別委員会
	26日	議会運営委員会
	29日	本会議(議案の議決等) 議会運営委員会
	31日	本会議(議案の付託・議決) 常任委員会 議会運営委員会

主な内容 2・3面…代表質問 3・4面…一般質問 5～7面…予算特集 8面…可決された議案ほか

NO.202 平成22年(2010年) 4月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX 5698-1543



満開の桜と総合庁舎

## 平成22年度予算が成立

### 介護保険制度の抜本的な 基盤整備を求める意見書を可決

今回の定例会では、区長の所信表明を受け、5会派からの代表質問と、10名の議員から一般質問が行われました。また、平成22年度葛飾区一

一般会計予算をはじめとする区長提出議案等34件と、介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書などの議員提出議案12件が可決されました。

## 可決された意見書(要旨)

今回の定例会では次の意見書12件を可決し、関係機関に送付しました。(件名の下の分は意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は8面に掲載)

### 介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①介護施設の待機者解消を目指すこと②在宅介護への支援を強化すること③手続きの簡素化、要介護認定審査の簡素化をすること④介護報酬の引き上げを行うこと⑤介護保険料の上限が高くなりすぎないように抑制すること

### 子ども手当の全額国庫負担を求める意見書

国会及び政府に対し、次の事項を強く求める。①子ども手当は、全額国庫負担とすること②中長期のビジョンと財源確保の展望を示すこと③現金の直接給付だけでなく、子育てをしやすい環境整備にも配慮すること④制度設計については、国と地方の役割分担のあり方を明確化すること

### 中小企業対策の充実・強化とさらなる総合経済対策の策定を求める意見書

国会及び政府に対し、次の事項を強く求める。①主に環境分野に対する資源配分と不必要な規制を緩和し、新規事業創出を促すこと②緊急保証制度の要件の大幅緩和や小口零細企業保証制度の拡充、倒産防止緊急相談窓口業務を強化すること③FTA・EPA交渉を迅速に進め企業がグローバル戦略を展開しやすい環境を整備すること④為替の安定と適切な資金供給が行えるよう所要の措置を講じること

### 政治資金規正法の制裁強化を求める意見書

国会及び政府に対し、秘書などの会計責任者が違法行為を犯した場合に、監督責任のある国会議員の公民権を停止する政治資金規正法改正案の成立を強く求める。

### 子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書

政府に対し、子どもの読書活動を守り育ていくため、子どもの読書活動を推進するための十分な予算を確保するよう強く求める。

### 若者の雇用創出などの雇用対策を求める意見書

国会及び政府に対し、次の事項を強く求める。①地域の表情に基づいた雇用機会の創出を強化すること②訓練・生活支援給付の恒久化、未就職新卒者に対する同給付の適用拡大を図ること③就活応援基金の創設を検討すること④政府版中小企業就活ナビの創設を検討すること⑤ワンストップサービスを定期的に開催すること⑥実効性のある労働者派遣法改正案を速やかに成立させること⑦介護、医療、福祉、環境、新エネルギー、農林水産漁業などの分野への雇用を促進すること⑧労働時間短縮のための労使の取り組みを支援・促進すること

### 児童虐待を防止するための親権制限を求める意見書

政府に対し、新たな法整備を行なうに当たって、父母の「親権の一時停止」や「監護権の停止」を認める制度とするなど、より弾力的に親権制限を行使できるものとするよう強く求める。

### 教員免許更新制度の存続を求める意見書

国会及び政府に対し、質の高い教員を確保し、国民の負託にこたえる教育水準を維持・発展させるためにも、教員免許の更新制度を存続することを強く求める。

### 「政治カネ」をめぐる問題の徹底説明を求める意見書

国会及び政府に対し、「陸山会」の土地購入資金事件の国会での真相説明を行うよう強く求める。水痘、おたふくかぜ等の流行性疾患の予防に関する意見書

### 政府に対し、次の事項を強く求める。①予防接種法を改正し、一類疾病の定期予防接種疾患に位置付けて、無料化していくこと②ワクチンの安定供給のために手立てを講じること

### 年金記録問題について実効性ある対策を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①日本年金機構においても、厚生労働省と連携して年金記録問題に取り組むこと②コンピュータ記録を正確なものにすること③不適正な事務処理等によって記録が変更された疑いのある場合には、本人の立場に立って記録を訂正すること

### 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

国会及び政府に対し、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を、平成22年のNPT再検討会議において議題として提案するとともに、その採択に向け、核保有国を初めとする各国政府に働きかけていくよう強く求める。

政治家の寄附は、禁止されています。また、暑中見舞等時候の挨拶状(答礼のための自筆のものを除く)を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金(出産・新築等)、贈り物(お中元・お歳暮等)をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

### 区政を聞く 代表質問(要旨)

#### 葛飾区議会公明党

平成22年度予算案と  
都市計画マスタープランの策定

平成22年度予算案

問 予算案の締め切り時点で、歳入が歳入を20億円以上回るとの見解を示していたが、予算案では財政調整基金を取り崩すことなくプラス予算となった。予算編成過程における歳入見込みと予算案における歳入見込みの変化について伺う。

答 編成当初、特別区交付金や特別区税の大幅減収を見込み、特別区債の発行や基金からの繰入れなどを検討した。こうした中、政府から出された税制改正大綱では、暫定税率の維持はもとより増税により交付金の収入が回復した。さらに都から示された都区財政調整フレームでは固定資産税の増などにより下落幅が緩和されるなど、最終的に財源不足な予算案編成ができた。

問 市の計画マスタープランの策定

問 区民との勉強会を重ねてきたと聞いているが、その成果を踏まえ今後の取り組みを方向性を伺う。

答 今までのように本区の特長である河川を活用した水に親しむ空間の創出など、個性的な質を重視したまちづくりの方向性を打ち出していきたい。

#### 自由民主党議員団

新区長は新たな視点と意気込みを持って区政の推進を

青木カラー

問 青木新区長と前区長との具体的な政策の違い、「青木カラー」はどのようなものか。

答 「子どもが楽しく学べる」「安全・安心を実感できる」「生涯現役・健康長寿日本」「誰もが安心して暮らせる」「水と緑に囲われよう」「バリアフリー・ユニバーサルデザイン」の6つの視点から、「夢と誇りあるふるさと葛飾づくり」に全力を傾ける。

問 別の質問項目 新区長の基本姿勢

答 都区財政調整フレームが固定資産税の増などにより落ち込み幅が緩かった。また、一般会計繰出金の大幅な減少などで財源が生み出された。歳出面でも内容の精査、人件費の減などで、財源不足なく編成できた。

問 別の質問項目 23年度以降の財政見通し など

立石駅周辺の再開発事業

#### 葛飾区議会公明党

職員の人材育成と  
北部地域のモビリティの充実

区職員の育成及び能力開発

問 大量退職時代の中、年齢構成の変化を踏まえた育成方針になっているか。答 若手職員育成に重点を置き、早い段階で職場外研修を集中的に実施する。

問 別の質問項目 職場内研修 など

問 高齢者施策及び介護保険  
推進していくのか。

問 新たな事業の取り組みや、人材の育成を継続し地域力を高めていく。

問 別の質問項目 事業の周知 など  
新橋六丁目地区周辺の街づくり及び防災機能

問 別の質問項目 建物高さ規制 など

問 フィットネスパーク構想の進捗状況  
案から修正箇所はどのようなか。また、その修正は、従来のスポーツ施設の機能に支障をきたさないものなのか。



フィットネスパーク予定地

答 案に対する区民の意見から、屋外運動施設の周囲に厚い緩衝緑地帯を設け、これに合わせて屋外運動施設を横長の長方形に、また体育館の配置位置を若干変更した。この結果、新たなスポーツ需要にもさらに対応される計画になったと考える。

問 別の質問項目 フィットネスパークの工事スケジュール

問 別の質問項目 経費抑制の取り組み

問 夢と誇りあるふるさと葛飾の実現に向けての区長の決意と、今後のビジョンについて伺う。

問 別の質問項目 民間事業者の活用・法的規制 など



新小岩駅前の混雑

問 地元での活動 など  
新小岩駅周辺の整備  
問 北口駅前広場の整備、駅前におさわり空間の創出と景観の形成を図るべきかと思うがどうか。

問 別の質問項目 水害対策 など

問 これまでの成果をどのように捉え、新たな施策の展開をしていくのか。

答 これまでの取り組みにより、区教育は着実に前進しているが、学力の二極化が生じているなど、さまざまな課題がある。そこで、成果や課題を踏まえ、教育環境の変化に対応した上で、葛飾の教育をさらに前進させていくことを目指し策定した。

問 別の質問項目 都の教員加配 など

問 葛飾区ICT計画2010  
平成24年度に開始予定の総合窓口は、現状の窓口業務やサービス形態と比べ、どのように変わるのか。

問 夢と誇りあるふるさと葛飾の実現に向けての区長の決意と、今後のビジョンについて伺う。

問 別の質問項目 経費抑制の取り組み

問 別の質問項目 民間事業者の活用・法的規制 など

問 別の質問項目 交通上の問題 など

問 別の質問項目 交通上の問題 など

#### 葛飾区民会議

新年度予算編成と  
区有施設の将来的なあり方

新年度予算編成

問 今後の経済状況を見越し、ふるさと葛飾の実現に向けた区長の基本姿勢をどのように新年度予算に反映させたのか、伺う。

答 第一、現場第一の区政運営など4つの基本姿勢に基づき、事業の予算を計上した。予算編成にあたり基金からの繰入れを行ったが、起債や基金借入れを抑制する一方、特定目的基金を積立てるなど、将来の財政運営に備えた。

問 別の質問項目 滞納整理の推進 など

#### 日本共産党葛飾区議会議員団

区民のくらし、営業、教育など  
青木新区長の政治姿勢を問う

青木カラー  
青木新区長の区政に対する基本姿勢

問 就業援助の支給基準を生活保護の1.2倍以上に改善し、申請方法も元に戻すべきかと思うがどうか。

問 葛飾ブランドの販促促進のため、区長が先頭に立ちトップセールスするぐらいの意気込みが必要かと思うがどうか。

問 別の質問項目 生活保護費の大幅な伸びへの対策

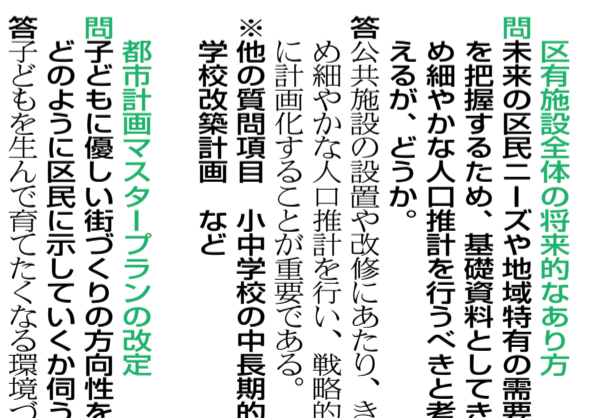
問 別の質問項目 生活保護費の大幅な伸びへの対策

問 別の質問項目 生活保護費の大幅な伸びへの対策

問 別の質問項目 生活保護費の大幅な伸びへの対策

#### 子供の心身の健康

問 保田しおさい学校を中学部まで延長してどうか。また、錦南中学校と小中一貫教育を検討してどうか。



子どもたちの体操

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

#### 自由民主党議員団

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

問 別の質問項目 保田しおさい学校の研修会の開催

小・中学校における土曜日の授業の実施

問 土曜日授業を実施する目的をどのように考えているか。

答 授業時間数の増加や確かな学力の定着、家庭・地域との連携を図るなど充実した教育活動を行うために、土曜日授業を実施する。

問 円滑な実施のために、校内の指導体制の確立と、保護者や地域住民の理解をどのように図っていくか。

答 関係団体の会議などで趣旨説明を行っている。また、土曜授業の実施概要のひな形を学校に示し、保護者や地域に周知していく。

※他の質問項目 土曜授業の回数

学力調査

問 確かな学力の定着度調査をもとにした各学校の授業改善プランとはどのようなものか。

答 各学校で毎年8月までに授業改善プランを作成し、公開している。児童・生徒の学力向上のため、わかる授業の推進に、各校さまざまな工夫を行っている。

※他の質問項目 学力調査の問題作成など

葛飾区民会議

BCPP(業務継続計画)の進捗状況と危機管理政策

BCPPの進捗状況

問 BCPP(業務継続計画)地震編、新型インフルエンザ編の、今後の具体的なイメージとねらいについて、また、各部署に求める効果と、区長としての将来的なビジョンを伺う。

答 優先業務を事前に計画化し、業務遂行の阻害要因、解決課題を明らかにし、区民のために活動するさまざまな対策の実効性を確保する。日頃から危機管理意識を各部署に求め、職員の訓練を拡充し、区民第一の姿勢を強く持った取り組みをビジョンとする。

※他の質問項目 災害時協定 など

震災復興の課題

問 震災復興マニュアルなどで、ガレキや災害廃棄物と、限りある処分場や一旦集積場の課題を示すべきである。



ガレキの処理 「阪神・淡路大震災—神戸市の記録1995年—」 「阪神・淡路大震災 神戸市災害対策本部編」

答 ガレキ置場選定方針など処理のあり方について今後も検討を進める。

※他の質問項目 ごみ処理対策 など

質の高い行政を展開するための取り組み

区職員の育成と確保

問 新たな人材育成基本方針における現状の課題と具体的な進め方を伺う。

答 知識・技術の継承や若手職員の育成などの課題に対し、職場を「育てる場」に位置付け目標を掲げ、業務改善の取り組みを通して職員を育成する。

※他の質問項目 係長の活用 など

区職員の研修

問 新人職員だけでなく、管理職も民間企業での研修が必要ではないか。

答 派遣先の確保や実施課題などを検討し、職員の経験の場を広げていく。

はたちのついで 問 記念品贈呈の復活を検討する考えがあるのか伺う。

答 ゲストによるコンサートやメッセージの披露など、心に残る「はたちのついで」となるよう努力していく。

問 補助対象を限定せず電気料の助成を

検討する考えがあるのか伺う。

答 料金の負担軽減になるLEDへの切り替えが有効と考える。今後、助成の在り方を研究していく。

日本共産党葛飾区議会議員団

子ども家庭支援センターの存続 児童クラブ・保育所の充実を

子育て支援

問 子ども家庭支援センターは統廃合ではなく、存続させ、増設すべきだが、どうか。

答 支援センターのあり方は、子ども総合センターの開設に合わせ、地元要望などを踏まえ検討する。

問 大規模児童の解消のため、増設計画を見直し、国が示した基準を確保することを求める。

答 待機児童を発生させないように計画的に設置する。また設置に際しては、国の基準を満たした施設を設置する。

※他の質問項目 区が土地を取得し保育所を設置すること など

新宿六丁目地区の大学・公園用地の盛土

問 1・5メートルの盛土では水害が発生したときには浸水することが明らかであるのに、なぜ防災といえるのか。

答 現時点で国が想定し公表している浸水想定区域図を基に計画した。

※他の質問項目 盛土計画撤回 など

高齢者の経済的給付事業の復活 特養ホーム増設で空白解消

問 本区も廃止した経済的給付事業を復活してはどうか。

答 所得にかかわらず年齢などの要件で給付されるため見直しをしたもので、制度を復活する考えはない。

特別養護老人ホーム

問 特養の配置には空白地域があり、地域偏在を解消すべきだが、どうか。



地域包括支援センター

答 特別養護老人ホームは区全域を一つの単位として整備しているので、地域ごとに整備する考えはない。

※他の質問項目 本区が土地を取得して福祉法人に貸与する方式 など

小菅四丁目自転車置き場

問 小菅四丁目自転車置き場を無料で存続させるべきと思うが、どうか。

答 新設される自転車駐輪場や既存施設の改修などにより自転車の収容はできるもので、本置き場を廃止する。

※他の質問項目 足立区と本区の自転車駐車場の整備の役割分担 など

民主党 葛飾

学力水準と商店街の活性化 高齢者の就業支援

問 葛飾区の学力水準活性化

答 小中学校の学力水準の活性化が重要だが、基本方針・予算の見直しの必要性をどう考えているか。

答 葛飾区教育振興ビジョン(第2次)を積極的に推進し、さまざまな教育条件の整備に取り組んでいきたい。

※他の質問項目 葛飾区教育振興ビジョン(第2次)の達成率 など

元気な高齢者の就業支援

問 元気で働く意欲のある高齢者に対して行政はどうサポートしていくのか

※他の質問項目 離職率の把握 など

商店街事業の推進

問 商店街の助成金予算を商店街限定の買い物券として区民に配布したほうが経済効果が大きいと思うがどうか。



青砥駅前の商店街

答 商店街では、助成を活用し商品券などを商店街利用者へ提供している。助成を通じ、消費の喚起につなげる。

※他の質問項目 後継者不足 など

学校教育の課題と 堀切地区のまちづくり

問 不登校の対策について、現状認識や課題、対策の実績などについて伺う。

答 不登校は小中学校とも増加傾向にあり、スクールカウンセラーをすべての小中学校に配置するなど不登校の未然防止を図ってきた。今後もより充実した体制づくりに努めていく。

※他の質問項目 教員の多忙化 など

堀切地区のまちづくり

問 まちづくりには住民参加が不可欠だが、どのように進めていくのか。

答 地域の方々の発案による緑道へのベンチの設置などを始めた。今後も積極的に取り組んでいく。

問 商店会の活性化について、現状認識及び課題、対策などについて伺う。

答 堀切地区の商店会では、積極的な事業展開を行っている。協働による商店街事業の実施を働きかけていく。

※他の質問項目 防災面の課題 など

無所属(※2)

土曜授業の実施と 地域スポーツクラブ

区の情報公開・日曜開庁

問 庁議の議事録をホームページで公開すべきと思うが、どうか。

答 公表時期の制限や公表できない場合などの課題を踏まえて、検討する。

※他の質問項目 日曜開庁 など

高齢者の孤独死対策など

問 高齢者の孤独死対策について、区長の所見を伺う。

答 高齢者が社会から孤立しない地域づくりが重要で、対策を充実させる。

※他の質問項目 本区の高齢者の孤独死の実態 など

土曜授業の実施

問 特色ある学校づくりの観点から土曜授業の回数などを各学校の裁量に委ねるべきと思うが、どうか。

答 授業の回数などは、平成22年の試行実施を踏まえて、その成果や課題などを検証していく必要がある。

※他の質問項目 教員へのサポート体制 など

地域スポーツクラブ

問 区長の公約には7カ所の地域スポーツクラブの育成・支援とあるが、7カ所すべての設立を目指すのか。

答 7カ所の設置を計画目標とし、22年度は3カ所目の設立に取り組む。

※他の質問項目 スポーツクラブの設立後の支援



こやのエンジョイクラブ

# 平成22年度予算の概要

## 各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,523億3,000万円	0.9%
国民健康保険事業特別会計	508億 400万円	-4.4%
後期高齢者医療事業特別会計	71億9,000万円	1.9%
老人医療事業特別会計	4,100万円	-48.8%
介護保険事業特別会計	238億3,000万円	5.8%
用地特別会計	5億3,450万円	—
駐車場事業特別会計	4億9,510万円	-75.8%
合計	2,352億2,460万円	-0.5%

## 区民一人当たりの予算額(一般会計)

高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	153,770円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	34,365円
災害対策や地域活動、文化振興などに	46,266円
道路・公園整備やまちづくりに	34,068円
清掃事業や環境対策に	14,994円
中小企業に対する融資など産業経済に	9,881円
特別区債の償還などに	7,966円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	37,769円
合計	339,079円

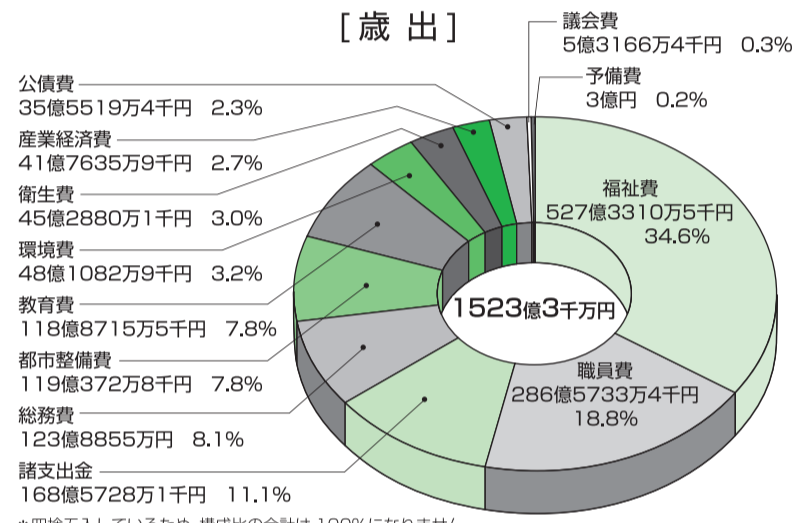
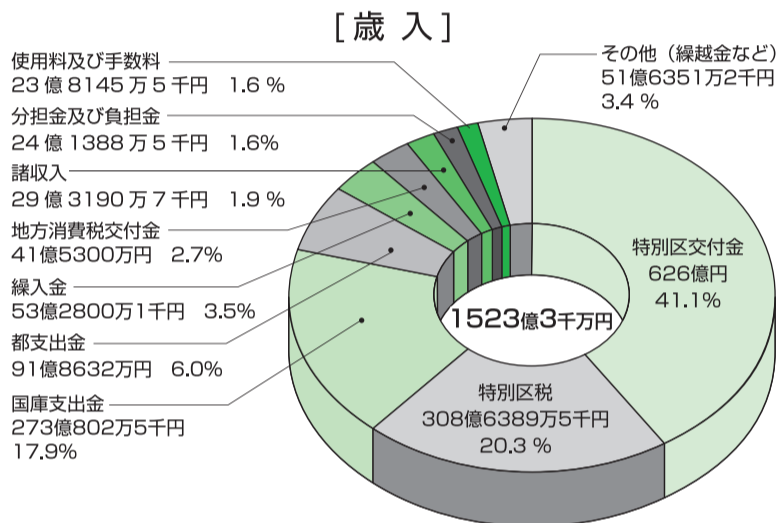
人口は446,323人(平成22年1月1日現在)から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

2月18日の本会議において、平成22年度各会計予算案7件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

予算案は、3月2日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、10日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月29日の本会議において可決されました。

# 予算審査特別委員会 平成22年度予算を審査

## 一般会計



\*四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。

予算審査特別委員会は、平成22年度各会計予算について審査を行うために、2月18日の本会議において、39名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費・総務費・産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費並びに各特別会計予算を所管しました。

3月2日の委員会では、総括質疑を実施し、10名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立って質疑が交わされました。

また、3月3日から8日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、3月10日に、当委員会は、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。

また、一部の委員から提出された平成22年度葛飾区一般会計予算の組み替えを求める動議については、提出者代表から提案説明を受けて採決を行い、動議は賛成少数で否決されました。

その上で、付託議案7件について順次採決を行い、「平成22年度葛飾区一般会計予算」、「平成22年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「平成22年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」、「平成22年度葛飾区老人医療事業特別会計予算」、「平成22年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」、「平成22年度葛飾区駐車場事業特別会計予算」は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、「平成22年度葛飾区用地特別会計予算」は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 予算審査特別委員会 委員長報告(要旨)

## 平成22年度予算に対する各会派の意見

この面から7面まで、平成22年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

### 葛飾区議会公明党

#### 厳しい財政状況下、区民ニーズに応えた点を評価

平成22年度予算案は、厳しい財政環境下、職員定数の削減などこれまでの行財政改革の取り組みが功を奏し、財調基金の取り崩しをすることなく、計画事業に加え、新たな施策にも踏み込んだ予算となっており、区民のニーズに応えている点を高く評価します。

**総務費** 総合窓口の開設については、おもてなしサービス、人材育成等、目に見える形で実現することを要望します。防災活動拠点整備は、目標の30カ所へ向けての着実な推進と内容の充実を求めます。投票所出入口の仮設スロープができていない施設があれば設置を要望します。

**産業経済費** 緊急資金融資事業の継続と設備投資融資の開設など評価します。今後の雇用情勢によっては、区独自の雇用対策の検討を望みます。区の融資制度を利用して経営者が金融円滑化法を利用して融資条件が変更し、返済の負担軽減策を区独自で検討することを望みます。中小企業退職金共済事業のさらなる充実を求めます。

**福祉費** 子ども手当の支給開始に当たっては円滑に遂行できる体制の構築を求めます。障害者福祉施設へのバス送迎については、利用者へ配慮ある対応を望みます。障害乳幼児早期療育体制の整備については、幼稚園や保育園への訪問相談事業をきめ細やかに実施するとともに、連携ファイルの小学校への情報提供などについて有効に活用される仕組みを検討するよう求めます。子ども発達センターの相談体制の拡充を望みます。待機児解消をめざした保育所の増設を高く評価します。一時保育・子育てひろば事業については、できるだけ保護者が利用しやすい駅前の実施を含め、さらに拡充することを望みます。保育所入所申込みに当たっては、入所判定に大きく影響する点について、実情を把握できるよう、申込者

へのきめ細やかな対応を求めます。

**衛生費** AED(自動体外式除細動器)の全小学校への設置を評価します。がん検診率向上のため受診しやすい事業展開を望みます。予防接種事業の拡充は評価しますが、さらなる充実と効果あるPR活動を求めます。

**環境費** プラマックの回収で優良区としてAランクに認定されたことを高く評価いたします。在区外国人への「ごみの分別収集」のPRなど、さらなるリサイクル、ごみ減量への取り組みの推進を要望します。太陽光発電の普及促進、壁面・屋上の緑化や緑のカーテン事業の促進、水質浄化やホタルの復活への取り組みを要望します。

**都市整備費** 子どもと高齢者の視点を重点においたユニバーサルデザインの街づくりを求めます。金町駅北口周辺など、駅周辺や地区の街づくりの着実な推進を求めます。耐震基準に満たない木造住宅の建て替えを促進する取り組みを要望します。自転車、バイクのコイン駐車場の促進、ボール遊びのできる公園づくりを要望します。新中川に設置予定のドックランの早期開設を要望します。児童遊園の灰皿の完全撤去については、計画通り推進することを求めます。

**教育費** かつしかデジタルミュージアムの予算化などを評価します。25年度に東京理科大学が開学予定ですが、今後の葛飾の子どものための教育やかつしか区民大学、産学連携による地域活性化などに大きな影響を与えることになり、後世の区民から評価される取り組みを求めます。フィットネスパークについては、流れるプールなど、すべての区民の利用を視野に入れた取り組みを要望します。今後の学校改革については、全国に誇れる取り組みを求めます。学校への太陽光発電設置、芝生化、トイレの改修、小中一貫教育、学校教育のICT化、学力・体力の向上策など教育振興ビジョンにもとづいた計画事業の積極的な推進を求めます。各特別会計については、これを了とし、事業の適切な執行を望みます。

### 自由民主党議員団

#### 元気で生き生きと暮らせる 「明日の葛飾」に向けて

将来の葛飾をしっかりと見据えた上で、5年後、10年後に大輪の花を咲かせられるよう、不断に行財政改革に取り組む、「明日の葛飾の元気な力」につなげるための一般会計予算、対前年度比0.9%増の予算編成を高く評価いたします。以下、項目別に、わが党派の意見・要望を申し上げます。

#### 総務費

長引く景気低迷の下で昨年よりさらに大幅な歳入面での減収が見込まれる中、簡素で効率的な運営をしながらも、区の将来を見据えた取り組みを展開していることを高く評価します。職員出張旅費において積極的に若手職員を研修等に送り出すことを要望します。地域団体などの主催する会合への出席は、これまで以上に簡素化を図っていただきたい。総合庁舎整備検討経費では、これまで検討した手法を、これからは一般区民の意見も取り入れて進めていくことになるので、区民の利便性を第一に考えてしっかりと進めていただきたい。

#### 産業経済費

観光実態調査において、外国人のニーズもしっかりと把握する調査を実施すべきです。電車ラッピング広告では、京成金町線が折り返し運転になる好機をとらえ、大胆な発想をもって取り組んでいただきたい。

#### 福祉費

障害者就労支援事業については、就労できた人の半数近くが離職している状況ではあるが、区独自の循環システムで再度就労できるよう、粘り強い努力を望みます。高齢者クラブ助成については、高齢者の地域活動を活性化するため助成額のアップを求めます。児童福祉費における認証保育所および認可保育所の運営助成において、児童一人当たりの運営費の年間単価で大きな開きがあるが、東京都が認証保育所への補助に力を入れていることに期待をしたい。

#### 衛生費

予防接種の充実に、水痘、

おたふくかぜ、インフルエンザ菌b型小児肺炎球菌が1歳児に、65歳以上の方への肺炎球菌の助成が4千円で一回の実施とするなど、区民の健康増進に役立つことを期待します。

#### 環境費

太陽光発電については、公共建築物への設置を今後も進めていくとともに、小さな発電量のものだけではなく、より実用的な設備の導入を希望します。ごみ減量地域リーダーについては、区内全域に配置するとともに地域で認知され、啓発活動がしやすい環境づくりを進めるよう希望します。

#### 都市整備費

新小岩南口駅前平面的な交差によるバリアフリー化の推進とともに地下を利用し、駐輪場、駐車場、タクシーの待機スペースを確保するなど交通渋滞の緩和に努めていただきたい。金町駅北口では、東京理科大学の開学により、駅周辺の混雑が予想されますが、地域住民の要望にこたえて歩道空間の確保に努めていただきたい。また中川テラス公園に門扉を設置して利用時間を規制することをせず、照明の設置を強く希望します。

#### 教育費

学校教育活動指導経費を充実し、多様な人材の活用により一層の学力向上の取り組みを求めます。家庭教育支援事業では「ノーテレビ・ノーゲームデー」など家庭教育を支援する取り組みに期待します。確かな学力の定着度調査は、一般区民の目線ではまだまだ変化を感じられないようなので、基礎学力定着に向けてよりきめ細やかな対応を求めます。小中学校の校舎は、耐用年数をほつきりさせ建て替え計画の策定を要望します。小中一貫教育では、モデル校の取り組みの成果が今後期待されます。近隣区において、7歳の男子が虐待により命を奪われたことは誠に残念です。本区では関係機関との連携を強化して、同様の事態とさせないよう強く要望します。

特別会計では、適切な予算編成と認め、着実な執行を望みます。その他、わが党派の委員からの意見・要望が各施策に反映されるよう希望します。

### 葛飾区民会議

#### 区民第一を基軸にした職員 の意識改革を施策に活かす

平成22年度予算案は、なお厳しい経済状況が続くなか、財源を効果的に振り分け、効率的な編成がなされたものと評価します。しかし、芦屋市に見られるような緻密で、人口推計に基づいた戦略的な予算編成を可能にする余地があることを指摘します。総合窓口の設置や東京理科大学の誘致に伴う周辺地域の整備などの事業は、区民ならびに議会に対して、より明快な説明を求めます。すぐやる担当課や葛飾文学賞の新設は、その運用や展開に関して課題が残されています。公共施設の維持管理に当たっては、高齢化の進展に合わせ適切な処置を希望します。観光振興事業は、緊急雇用創出事業のひとつとして財源が手当てされていますが、恒常的な施策として今後も継続することを期待します。

#### 福祉費

福祉費では、すぐやる担当課と福祉部の連携は児童虐待やDV、生活保護などケースによって緻密かつ大胆な対応が求められ機能面の課題には時間をかけた取り組みを求めます。保育施設の暫定的な耐震化の実施と後の建替え計画では、民間委託した施設を含め築年数などを根拠とした計画と同時に改築にかかる修繕費補助を望みます。見守り型緊急通報システムは看護ステーションが機能しない夜中の救急体制と設置基準の見直しを求めます。

#### 衛生費

衛生費では、新型インフルエンザのBCP導入は評価しますが、保健所主導のもとで機能する事業者選定を望みます。平成15年度から提案してきたAEDの主な公施設への設置が平成22年度は全小学校に行われることを評価します。予防接種は罹患率から行政負担、費用対効果を考え4種すべてに助成拡大を要望します。葛飾区の3次救命救急及び新型救命医療センターの設置は安心安全・災害の観点から非常に重要であり諸官庁に設置の働きかけを

求めます。自殺対策事業費が極めて少なく、区の対策強化・拡充を望みます。都市整備費では、住宅基本計画の三世代対応住宅の補助要件基準を見直し利用しやすい制度づくりを望みます。堀切地区をはじめとする街づくりにおいては、利用者・交通事業者・行政・議会の4者参加の場を作り、特にJR東日本とは西日暮里駅経由の磁気乗車券とスイカの二重運賃・割高運賃、綾瀬駅以東の増便問題。京成とは成田スカイアクセスの停車と踏切問題などの協議を求めます。放置自転車対策は、修繕費・改修費などを指定管理者に申し付けず、区の予算を生み出す体制を望みます。新小岩・金町駅周辺地区の街づくりは、公共交通整備の面からも新金線の旅客化の再検討を求めます。新宿六丁目公園整備が、防災公園ならば災害時に仮設住宅の設置などの支援活動が支障なく、被災者が居られる平地の十分な確保を敷地内に求めます。

#### 環境費

環境費では、分別促進支援事業経費がバラマキにならぬよう慎重な検討を求めます。

#### 教育費

教育費では、教育委員会運営経費に関して、教育委員の選任は高度な見識を有するなど、適切な人事の検討・実施を求めます。東京都教育委員会の児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を今後は学力順位も含めて区は認め施策に参考にすると回答は高く評価します。確かな学力の定着度調査は委託せず、教員自らが作成・実施する調査に戻すことを求めます。学習支援講師派遣事業経費は、学力向上の具体的な施策として、平成20年3月に一つの中学校で行った一時的な連携ではなく、他区と同じ本格的な塾連携を平成22年度から実施する約束の実行を求めます。教育環境格差について、パソコンも含めてICTを活用した機器は、一律に学校に整備するものでなく、生徒・教員数に応じた機器の配置によって利用機会の頻度の偏在を失くすことを求めます。フィットネス・パークは、スポーツ選手も育成できる公式競技可能な公認施設として整備を求めます。

### 日本共産党葛飾区議会議員団

#### 不況で大変だからこそ、 暮らしを応援する予算に 家計応援の予算組替えを提案

来年度予算には、区民税の減収、生活保護の急増など暮らしが大変深刻になっていることが反映されています。こんな時こそ家計を応援する予算編成が求められます。

党区議団は、昨年12月に269項目の予算要望を提出しました。今議会では独自の条例や予算組替えを提案し、その実現に奮闘してきました。

独自の条例案の中には昨年の選挙公約であった75歳以上の医療費無料化があります。すでに実施している日の出町が注目され、また後期高齢者医療制度の廃止が先送りされ保険料が値上げされる中、多くの区民から期待をされていたものです。

組替え案では、国保料の値下げをはじめ就学援助や保育料無料化の拡充など、家計応援の予算を提案しました。新区長が新たな家計応援の施策を打ち出せない中で、1・6%の組替えで実現できるものばかりです。

この提案は、残念ながら他党派の賛同が得られず実現には至りませんでした。したが、これまで要求してきた認可保育園・学童保育クラブの増設やヒップワゴン、肺炎球菌の予防接種助成、中小企業融資の拡充など実現することができました。

#### 老人福祉費の割合は23区最低

葛飾区の老人福祉費の割合(08年度決算)は、23区最低です。

高齢者紙おむつ支給は、常時失禁者から要介護4以上に限定し、さらに所得制限を設ける改善をしました。障害者福祉タクシーは、65歳以上は認めず、年齢で差別をするという異常さも際立っています。

福祉サービスの利用者負担を原則有

料にしていますが、他区は非課税世帯ならば無料か低額がほとんどです。特別養護老人ホームの待機者は、今や一五〇〇人を超えました。施設建設を急ぐことが必要ですが、民間まかせになっていきます。

このように福祉に冷たいのは、総事業費のうち、「健康と福祉」には、わずか6%しか使わないという「中期実施計画」にのみつき、地方自治体の本来の仕事である「福祉の増進」に背を向けているからです。

「計画」の見直しが必要です。

#### 区民に冷たい一方で開発は優先

新宿6丁目地区の東京理科大学のキャンパス用地は、防災対策として8億円かけて盛土工事を行います。しかし、その周辺の防災対策は、まったく検討されていません。

しかも、盛土工事の施工業者が議決前に大手セネコンに決まったという報道がされるなど、防災対策とは名ばかりの談合の疑惑が生まれています。

本来なら全区的な対策はどうあるべきかが優先されるべきですが、その予算はわずか30万円、大学キャンパスの盛土は8億円、まったくあべこべです。

区役所総合庁舎を立石駅前再開発ビルに移転させようという計画も急浮上り再開を強引にすすめる手段として総合庁舎の建て替えを位置づけることは、まさに開発優先です。

立石駅前再開発計画は、抜本的な見直しが必要です。

16億円かけた金町駅南口再開発ビル内の公共駐車場(256台)は、あまりにも過大で非効率な状況です。

部落解放同盟葛飾支部への根拠的な補助金支出はやめるべきです。

日本共産党区議団は、800億円近い基金の一部を活用し、区民要求実現に引き続き奮闘します。

民主党 葛飾

厳しい経済状況の下  
区民第一・現場第一の区政運営を

議会費―インターネット中継のアクセス数が必ずしも多くないのでPRの充実を要望します。

総務費―研修費に関して、窓口対応調査を実施したことは評価し、今後研修成果の効果測定を行い、職員の資質向上を確実に図っていただきたい。広聴会経費では、区民と区長との意見交換会の実施については意見を述べた区民に対し、反映の有無を含めて丁寧なフィードバックを行うことを要望します。災害対策経費は、災害時の備品等については不十分な部分も見受けられるため、一層の充実をしていただきたい。美化推進事業経費は、地域で美化活動をしている区民の方々に対し、表彰の実施や地域力の向上に向けての検討会設置を要望します。

産業経済費―緊急資金融資の継続や商業緊急経済対策など厳しい経済状況に対する施策もあり、評価しますが、引き続き経済状況を見極めながら、迅速かつ、きめ細かな対応を要望します。

福祉費―企業内通所授産事業は区内では唯一の施設であり、事業内容は有意義であると評価をします。今後も助成継続を求めます。待機児童対策として待機割合が最も高い0歳から2歳に重点を置いたことを評価します。今後も地域偏在解消を含め区民ニーズにさらに対応できるように要望します。認証保育所を利用する児童に障害が疑われる場合は、認可保育園と同様の対応を区に要望します。訪問介護員レベルアップ研修委託について、研修内容のほか、運営に関しても改善を求めます。

衛生費―幼児・高齢者対象の任意予防接種の新規助成を高く評価します。今後については、利用区民のニーズを捉え、接種対象年齢の拡充と接種回数改善を検討することを求めます。飼いきのない猫対策助成モデル事業については、飼いきの意識啓発として、任意登録制度やマイクロチップなどの検討を要望します。

環境費―省エネルギー設備導入費助成や太陽光発電システム設置費助成経費を増額することで設置しやすくなったことを評価します。また、屋上・壁面緑化推進経費の助成を推進するために補助要件の緩和などを要望します。清掃費は、資源物持ち去り防止対策について、防鳥ネットや午前中回収等を活用し、対策強化を図っていただきたい。都市整備費―防災の観点から掘切地区街づくりの早期実施を要望します。街づくり費は、新小岩駅の南北自由通路と北口駅前広場の早期実現を求めるとともに、南側についても地域住民と合意形成を図りつつ北側と一体的に取り組みでいただきたい。立石駅周辺の再開発について、引き続き慎重に地域住民との合意形成を図り、対応していただくことを望みます。また高砂駅の連続立体交差事業の推進を強く望みます。道路橋梁費は、放置自転車対策に関して撤去の休日実施を区内全域で行うことを要望します。

意登録制度やマイクロチップなどの検討を要望します。

環境費―省エネルギー設備導入費助成や太陽光発電システム設置費助成経費を増額することで設置しやすくなったことを評価します。また、屋上・壁面緑化推進経費の助成を推進するために補助要件の緩和などを要望します。清掃費は、資源物持ち去り防止対策について、防鳥ネットや午前中回収等を活用し、対策強化を図っていただきたい。都市整備費―防災の観点から掘切地区街づくりの早期実施を要望します。街づくり費は、新小岩駅の南北自由通路と北口駅前広場の早期実現を求めるとともに、南側についても地域住民と合意形成を図りつつ北側と一体的に取り組みでいただきたい。立石駅周辺の再開発について、引き続き慎重に地域住民との合意形成を図り、対応していただくことを望みます。また高砂駅の連続立体交差事業の推進を強く望みます。道路橋梁費は、放置自転車対策に関して撤去の休日実施を区内全域で行うことを要望します。

教育費―特別支援教育の充実などきめ細かく予算が組み込まれたことを評価します。今後も葛飾区の子どもたちが学力・スポーツ・芸術といった、それぞれの分野で自分の能力を伸ばして活躍できるように、バックアップ体制を構築していく必要があると考えます。教育費の更なる拡充と、教育内容の一層の充実を図るよう要望します。教育総務費は、スクールカウンセラー・ALT・クラスサポーター・学習支援講師等の着実な予算編成を高く評価するとともに、特にカウンセリグは、教員の相談・サポート等の側面もありますので、一層の内容充実を望みます。

介護保険事業特別会計―通所介護・通所リハビリ等給付費の増額など高く評価します。また、24時間訪問介護支援給付費は、現状の登録数がまだ少ないため、登録数の拡大と事業の一層の推進を望みます。

各特別会計―堅実な予算編成であり事業の着実な執行を要望します。

平成22年度の予算は1千532億円という巨額であるが、その内容は前区長時代からのハコモノ主義、いわゆるコンクリートの塊りの築造等に主力を注ぎ、区民の待望する福祉の充実には相変わらず未だしの感が深い。

無所 属(※1)

ハコモノ主義を止めて  
福祉の充実に力を注げ

平成22年度の予算は1千532億円という巨額であるが、その内容は前区長時代からのハコモノ主義、いわゆるコンクリートの塊りの築造等に主力を注ぎ、区民の待望する福祉の充実には相変わらず未だしの感が深い。

かかる現実を踏まえて新宿六丁目の私立東京理科大学誘致のための予算の大幅振舞い3億7千万円、周辺の街づくり経費9億1千9百万円。保健所移転代替等13億7千万円、新小岩駅周辺再開発事業11億5千9百万円、京成押上線連続立体交差事業21億6千8百万円等々。その他の公共土木建築工事費は、予算全体に大きな圧力を加えています。

もちろん必要不可欠な公共工事は行うべきではありませんが、不要不急な施設の設定や改築工事などは慎むべきであり、特に現下の社会経済情勢の下にあっては大いに慎重であるべきはずであるが、その点の配慮に欠けているのではなからうか。

その一方で地場産業、特に中小企業、商業の育成、振興に対しては対応の十分さが否めない。

また雇用の衰退も甚だしいものがあるが、せっかくの政府の緊急雇用創出対策費なども従来は活かしきれいなので再考が望まれる。

無所 属(※2)

孤独死防止対策の拡充で  
安心して住めるまちづくりを

本区においても少子高齢化が着実に進みつつある中で、特に子育て支援(待機児童の解消)や高齢者施策(高齢者のサポートや孤独死防止対策)については更なる拡充を要望する。以下個別案件について列記する。

「広報かつしか」は情報発信が主な目的であり、今年の新年号においてはすくなく紙面の半分を割くなど、もったいない使い方をしている。広報課は貴重な税金を使って発行していることを今一度考え、改善を図るべきである。ひとり暮らし高齢者等選択式防災用品助成経費については来年度も継続することは評価するが、対象者の拡大を強く要請する。軽自動車納税証明は利便性向上を図るためにも隣接区のように区民事務所などでも発行できるようにすることを望む。観光については以前出版社とタイアップして「るるる葛飾」などガイドブックの発行をしたが、今後も改訂版を出すなど積極的なPRを望む。

教育委員の定数については2年前に1名増員して6名にしたが、昨今の行革の流れ、隣接区が5名のままであることを考えると5名に戻すべきである。また土曜授業の実施にあたっては議会をはじめ保護者や現場の教員、地域の意見をしっかりと聞き、決して教育委員会の独断専行にならないよう強く要望する。また学校指定物品についてはいまだに独占販売が改善されず、修学旅行については平均予算が6万円を超えるなど高止まり傾向にあるため、教育委員会が積極的に業者の公正な競争を確保する環境を整え、保護者の負担軽減に努めてほしい。また中央図書館の年末年始の開館日を2日間拡大した事は高く評価するが、今後は年末年始も全て開館するなどさらなる利便性向上に努めてほしい。

平成22年度予算は、昨年にも増して厳しい状況である。歳出面では扶助費や投資的経費に加え電算関連経費が大幅に増える中で、簡素で効率的な財政運営に努めるとし、将来を見据えた取り組みも見える予算編成となったことを評価する。「区民第一・現場第一」「スピードアップ」「人づくり」の三つの基本姿勢を掲げた区長の今後の区政運営に期待し、注目していく。

無所 属(※3)

新区長の今後の葛飾区政の  
舵取りを期待する

平成22年度予算は、昨年にも増して厳しい状況である。歳出面では扶助費や投資的経費に加え電算関連経費が大幅に増える中で、簡素で効率的な財政運営に努めるとし、将来を見据えた取り組みも見える予算編成となったことを評価する。「区民第一・現場第一」「スピードアップ」「人づくり」の三つの基本姿勢を掲げた区長の今後の区政運営に期待し、注目していく。

「区民第一・現場第一」「スピードアップ」「人づくり」の三つの基本姿勢を掲げた区長の今後の区政運営に期待し、注目していく。

「区民第一・現場第一」「スピードアップ」「人づくり」の三つの基本姿勢を掲げた区長の今後の区政運営に期待し、注目していく。

「区民第一・現場第一」「スピードアップ」「人づくり」の三つの基本姿勢を掲げた区長の今後の区政運営に期待し、注目していく。

無所 属(※4)

区民生活第一の財源の効率的活用をめざせ

依然として厳しい経済状況の下で編成された予算については、概ね評価する。22年度は、新区長のリーダーシップで区民第一の区政運営に期待する。

総務費―全庁あげて「区役所改革」に取り組んでいることは、大いに評価する。中でも「福祉総合窓口の整備」「コールセンターの開設」、さらには「すぐやる課」を新設したことで、さらなる区民サービスに期待してやまない。これまで以上に区民の目線に立った満足度の高い行政サービスへの取り組みを要望する。

産業経済費―区内事業者が安定的に事業を経営していけるように、さらなる融資のあっせん、信用保証料の補助利子補給、併せて緊急資金融資の限度額の拡大や、本人負担の利子の軽減を期待する。

福祉費―まず障害者意向調査は、推進計画を策定する上で重要である。当事者の要望や意見、生活の実態を十分把握できるように調査となるよう要望する。また、障害者自立支援協働事業委託費は、障害者の就労定着のため、「障害者就労支援プラン」の充実と併せて、支援に取り組んでいただきたい。

衛生費―新型インフルエンザ対策として、新たな健康危機編「BCP」の策定は、本区の健康づくり推進のために重要であると評価する。本区の予防接種を受ける1歳児と高齢者に対する接種費用の一部助成は、評価する。また、AEDが区立の小学校全校などへ設置されることは、高く評価する。

次の定例会は6月開催予定です

可決された議案等

議案名下の分は意見の分かれた議案(各会派の賛否は下欄参照)

【区長提出議案等 34件】

- 予算 10件
▼平成22年度一般会計予算
▼平成22年度国民健康保険事業特別会計予算
▼平成22年度後期高齢者医療事業特別会計予算
▼平成22年度老人医療事業特別会計予算
▼平成22年度介護保険事業特別会計予算
▼平成22年度用地特別会計予算
▼平成22年度駐車場事業特別会計予算
▼平成21年度一般会計補正予算(第4号)
▼被災市街地復興対策に関する条例
▼一部を改正する条例 18件
▼職員定数条例 1件
▼区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
▼区議会議員の期末手当の支給割合を改める。
▼区長等の給与等に関する条例
▼区長及び副区長の給料の額及び期末手当の支給割合を改める。
▼教育委員会教育長の給与等に関する条例
▼教育長の給料の額を改める。
▼監査委員の給与等に関する条例
▼常勤の監査委員の給料の額を改める。
▼職員の給与に関する条例

労働基準法の改正に伴い、一月月について60時間を超える超過勤務に対する超過勤務手当の支給割合を改めるほか、所要の改正をする。
▼幼稚園教育職員の給与に関する条例
労働基準法の改正に伴い、一月月について60時間を超える超過勤務に対する超過勤務手当の支給割合を改めるほか、所要の改正をする。
▼職員の退職手当に関する条例
退職後に懲戒免職処分を受けるべき行為をしたと認められる者等の退職手当について、新たな支給制限及び返納の制度を設けるほか、所要の改正をする。

▼文化会館条例
文化会館南側駐車場を新設する。
▼心身障害者福祉手当条例
外出支援を必要とする者に肝臓の機能の障害がある者を加えるほか、所要の改正をする。
▼母子生活支援施設条例
母子生活支援施設の建て替えに伴い、位置を改める。
▼地区計画及び防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例
新宿六丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限を改める。
▼「特別区道」道路占用料等徴収条例
道路占用料の額を改めるほか、所要の改正をする。
▼公共溝渠管理条例
公共溝渠使用料の額を改める。
▼区立公園条例
公園使用料及び公園占用料の額を改める。
▼区立小菅東スポーツ公園、小菅西公園及び間栗公園条例
公園占用料の額を改める。
▼特別区税条例
地方税法等の改正に伴い、区民税に係る給与所得者及び年金受給者が扶養親族申告書を提出するなど、所要の改正をする。
▼国民健康保険条例
保険料率を改めるほか、所要の改正をする。

砂七丁目495番4の一部まで(延長278.36m)
▼東京都後期高齢者医療広域連合葬祭費事務の受託
東京都後期高齢者医療連合と各区市町村との間における葬祭費の事務委託に関する規約を定め、62区市町村は地方自治法第232条の14の規定により、当該給付の事務を受託する。
▼東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更
後期高齢者医療保険料の軽減策を平成22年度、23年度も引き続き実施すること及び、平成22年度から新たに医療給付として葬祭費を支給し、それらに必要な経費を各区市町村の負担金により支弁する。

▼人権擁護委員の任期満了に伴う候補者の推薦に関する意見
人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を聞く。(区長の推薦に異議なし)
【議員提出議案 12件】
意見書
意見書(各会派の賛否は下欄参照)
意見書の要旨は一面に掲載
▼介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書
▼子ども手当の全額国庫負担を求める意見書
▼中小企業対策の充実・強化とさらなる総合経済対策の策定を求める意見書
▼政治資金規正法の制裁強化を求める意見書
▼子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書
▼若者の雇用創出などの雇用対策を求める意見書
▼児童虐待を防止するための親権制限を求める意見書
▼教員免許更新制度の存続を求める意見書
▼「政治とカネ」をめぐる問題の徹底解明を求める意見書
▼水痘、おたふくかぜ等の流行性疾患の予防に関する意見書
▼年金記録問題について実効性ある対策を求める意見書
▼「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

その他 5件
▼負担付贈与(防災活動拠点用地)の受入れ
防災活動拠点用地として、東京都から堀切七丁目826番7を受け入れる。
▼特別区道の路線の認定
高砂七丁目304番1地先から高

意見の分かれた案件

(○賛成、×反対)

Table with columns: 件名, 会派名 (公明, 自民, 区民, 共産, 民主, 無※1, 無※2, 無※3, 無※4), 議決結果. Rows include budget items and ordinance amendments.

公明=葛飾区議会公明党、自民=自由民主党議員団、区民=葛飾区民会議、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、民主=民主党葛飾、無=無所属

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

Table listing members of various political parties: 葛飾区議会公明党, 自由民主党議員団, 葛飾区民会議, 日本共産党葛飾区議会議員団, 民主党葛飾, 無所属.

広報委員会

- 委員長 舟坂 ちかお
副委員長 黒柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ
委員 小柳 じょうじ

次の「かつしか区議会だより」は7月発行予定です